

横浜労災 皮膚科に「手術紹介枠」「生検紹介枠」を新設しました

2023年3月9日

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

はじめまして。横浜労災病院 皮膚科の佐藤 勸治(さとう かんじ)です。

誰しも一生に何度かは皮膚に何かができます。それが何か、原因もわからず、なかなか治らないと不安になるものです。皮膚は内臓の鏡とも形容され、原因が皮膚以外にあることもあります。皮膚癌も増えています。見た目には癌に見えないような皮膚癌もあります。このような不安を取り除けるよう、通常の「紹介枠」のほかに、「手術紹介枠」「生検紹介枠」を新設しました。是非ご利用ください。

また、日頃から診ていただいている乾癬やアトピー性皮膚炎患者さんと、更なる症状の改善や、生物学的製剤など新たな治療を希望、または興味を示されている患者さんがおりましたら引き続きご紹介いただけますようお願いします。

我々ではできるだけ患者さんや皆様の不安を取り除けるよう努力しています。当科の現状と診療可能な疾患、紹介方法についてお伝えします。



佐藤 勸治
皮膚科 部長

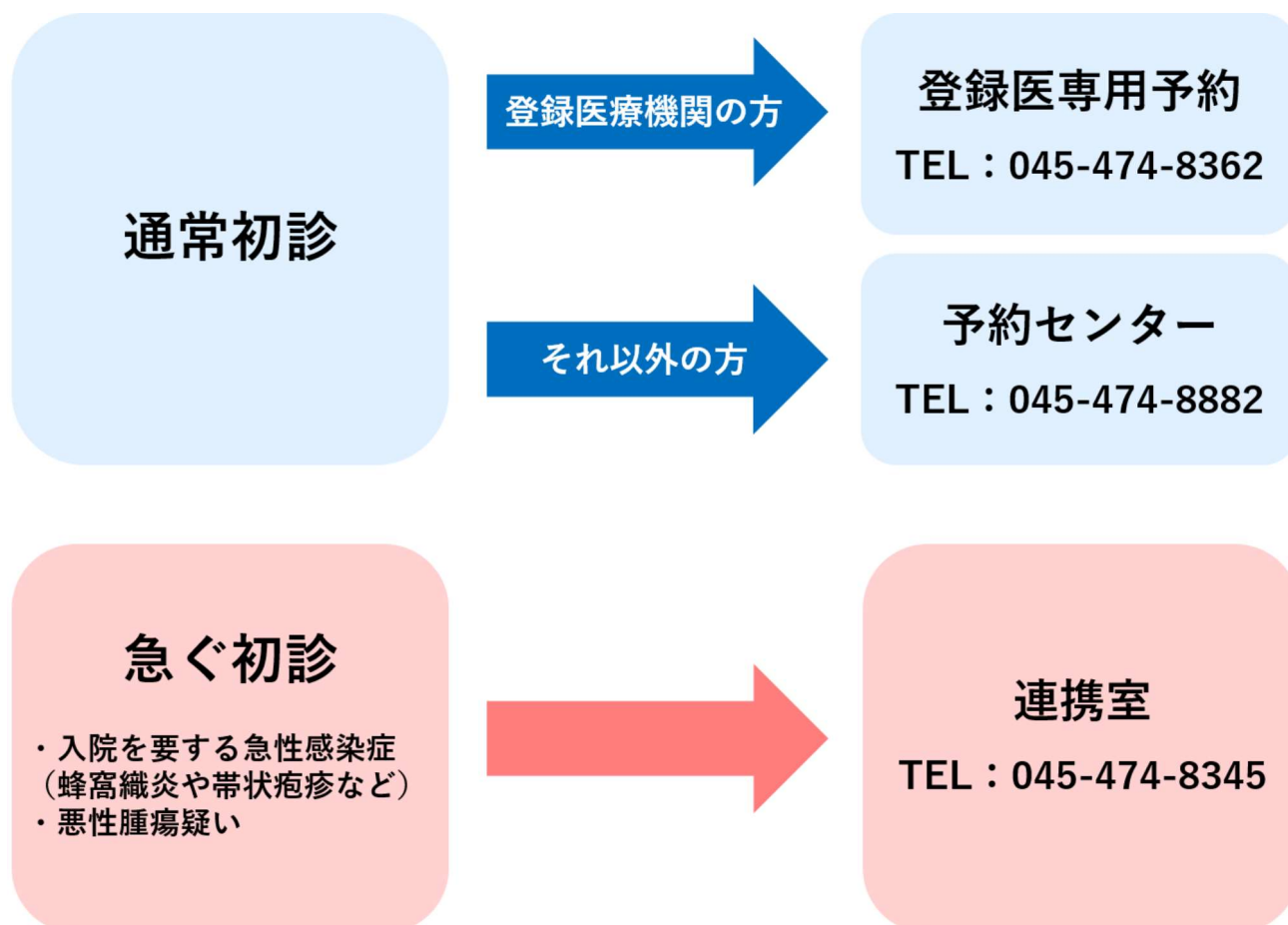
1, 当科の紹介

特化した専門分野はありませんが、悪性腫瘍の化学療法以外は、ひと通り対応しております。外来には専属の看護師はおらず、医師も1～2年で代わるため、患者さんの対応にしばしば時間がかかってしまいます。そのため、多くの患者さんを診てあげることはできませんが、できるだけ満足していただけるような診療を心がけております。

平日の午前外来診療を、午後と水曜の午前手術や皮膚生検、時間のかかる検査や治療を行っています。

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	検査	外来	外来
午後	手術	検査	回診	検査	手術

当科の初診は紹介予約制となっております。平日8:15～17:00までに予約専用電話045-474-8882までご連絡していただくよう患者さんにお伝えください。また連携登録されている場合と、受診を急ぐ場合は下記の案内に従ってください。



2, 当院がご要望にお応えできること

項目	内容
小手術目的	基本的には単純縫縮可能なものを当科で行っています。小型な粉瘤やホクロ（母斑細胞母斑）などが対象になります。
皮膚生検目的	診断に迷う皮膚病や悪性腫瘍の疑いがある場合に施行します。生検紹介枠を作りました。その日に生検や手術ができるわけではありませんが、早期に予定を組みたいと思います。予約時に「生検目的」あるいは「手術目的」での紹介であることをお伝えください。
検査目的	腫瘍の画像検査や、各種血液検査、パッチテストやスクラッチテストができます。ただし、アナフィラキシーショックの原因精査は積極的には行っていません。
生物学的製剤での治療目的	アトピー性皮膚炎や乾癬、慢性蕁麻疹に対して使用することができます。
入院目的	蜂窩織炎や带状疱疹などが対象になります。病床の状況にもよるため、連携室に確認をお願いします。病床に空きがあっても、入院かどうかの判断は、診察してから決めさせていただきます。
シミ治療	自費診療になりますが、Qスイッチルビーレーザー（茶または青あざの治療）、炭酸ガスレーザー、5%ハイドロキノン軟膏やレチノイン酸軟膏による治療ができます。
セカンドオピニオン	患者さんまたは開業医の先生方が、現在の治療または診断に対して不安がある場合、できるだけその不安を取り除けるよう追加検査や説明をします。基本的にはある程度のところで逆紹介させていただきます。

粉瘤



母斑細胞母斑



アトピー性皮膚炎



乾癬



蜂窩織炎



帯状疱疹



3, 当院で対応が難しいこと

アナフィラキシーショックの原因精査、アレルギーの減感作治療、帯状疱疹後神経痛治療（当院では神経ブロックができません）、化学療法、赤あざのレーザー治療、ポツリヌス菌治療、巻き爪のワイヤー治療、褥瘡などの慢性疾患の継続治療は行っていません。

4, 紹介時の注意点とお願い

項目	内容
待ち時間の説明	予約取得までと再診時の待ち時間はやや長めです。
通院日の融通は叶えにくい	外来は平日午前のみで、交代で外来と病棟の仕事を行っているため、曜日の指定も担当医も選べないことをご了承ください。
検査希望や入院意思の再確認	入院かどうかの最終決定は診察後に当科で判断させていただきますが、ご本人に検査または入院の意思があることをご確認ください。パッチテストは月曜か火曜日に検査を開始し、週3〜4回の受診が必要であることもお伝えください。
時間内勤務へのご協力	一刻を争うような皮膚疾患はほとんどありませんが、そのような疾患は当科でも対応できません。当院は働き方改革にも積極的に取り組んでおります。ゆとりをもって時間内に紹介していただけますようご協力をお願いします。
紹介目的の明示	紹介状は簡単で構いませんが（3行くらいでもよいです）、スムーズな連携をさせていただくためにも紹介目的を具体的に記載していただけると助かります。また、抗凝固薬や抗血小板薬を内服されている場合、ご存じであれば休薬可能かどうか記載していただけるとありがたいです。
逆紹介のご協力	病院では保険請求できないような小範囲の処置、症状は安定しているが更なる治療や検査を望まれていない慢性疾患（慢性蕁麻疹やアトピー性皮膚炎、多形慢性痒疹、乾癬、うっ滞性皮膚潰瘍、褥瘡、リンパ浮腫など）は、積極的に逆紹介させていただいております。何卒、患者さんのご指導と処置の継続にもご協力をお願いします。

5, 最後に

・今後もできるだけ患者さんや皆様のお役に立てるよう努力をしていきますが、皮膚科だけでは対応できないこともあります。病院の状況次第では受診歴があっても急な受け入れや、入院ができないこともあります。何卒ご理解とご了承のほどよろしくお願い致します。

・現在、手術や皮膚生検枠が比較的空いております。また、生物学的製剤も使用できますので、希望される患者さんがおりましたらご紹介いただけますよう宜しくお願いします。



佐藤 勘治(さとう かんじ)

皮膚科 部長

■卒業年次

平成9年

■専門分野

皮膚一般

■学会専門医・認定医

日本皮膚科学会専門医

お問い合わせ先



独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院 地域医療連携室

TEL:045-474-8111 平日 8時15分～17時00分

FAX:045-474-8323

ホームページ:<https://yokohamah.johas.go.jp>